

### 天童木工がクリエイターとふたたび特別コラボレーション

「ニューコラボ」、「リバイバル」、「ヴィンテージ」の3つの企画で構成される

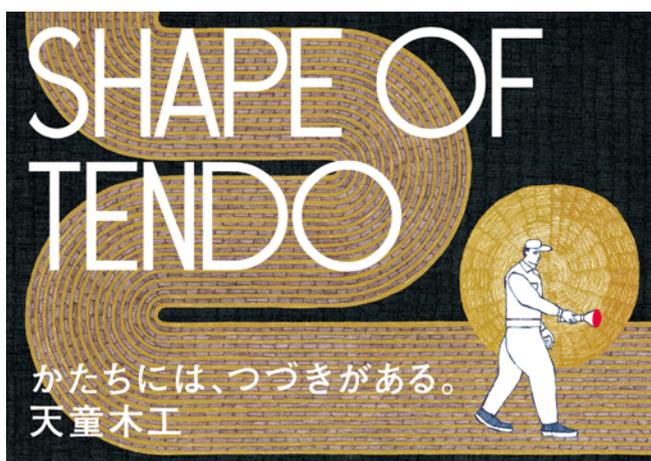
### 『SHAPE OF TENDO かたちには、つづきがある。』伊勢丹新宿店 本館5階で開催

株式会社天童木工（本社：山形県天童市）は、2026年3月25日（水）から4月21日（火）までの期間、伊勢丹新宿店 本館5階 イセタンホームエッセンス内に新設される「デザインスタジオ」において、企画展「SHAPE OF TENDO かたちには、つづきがある。」を開催いたします。

本企画は、三つのアプローチから天童木工のヘリテージを紐解く試みです。天童木工に深い関心を寄せるクリエイターの視点や発想を起点に、その思いや願いを家具づくりへと落とし込む「ニューコラボ」。名建築のために構想されながら製品化に至らなかったジャパニーズモダンの家具を現代に甦らせる「リバイバル」。さらに、天童木工監修のもと選定されたヴィンテージ家具を紹介する「ヴィンテージ」。それぞれの取り組みを通して、天童木工のものづくりの広がり、そのかたちが受け継がれていく様をご紹介します。



### 「SHAPE OF TENDO かたちには、つづきがある。」メインビジュアル・コピー



そのかたちは

何十年、何百年先までつづく  
言葉なき手紙だとしたら。

まだ見ぬ自分へ、つぎの世代へ、  
かたちは届けてくれるでしょう。

名作の志を、明日への願いを、  
ふれる喜びを、生活の誇りをのせて。

かたちはつづく。あなたとつづく。  
この春、天童木工の“リバイバル”、  
“ヴィンテージ”、“ニューコラボ”が集まります。

## 『ニューコロポ』 - 各クリエイターの紹介とそれぞれのアイテムについて -

天童木工が生み出してきた家具の多くは、過去のクリエイター（デザイナーや建築家）の思いをかたちにしてきたものです。今回の企画は天童木工に熱い思いを持つ方々が、現代のクリエイターという立場で打合せを繰り返すことからスタートしました。幾度ものやり取りから、彼らのアイデアを天童木工がかたちに落とし込むことで生まれたクリエイターこだわりのアイテムを是非ご覧ください。

▶ [https://www.mistore.jp/shopping/feature/living\\_art\\_f3/tendo\\_1](https://www.mistore.jp/shopping/feature/living_art_f3/tendo_1)

### 【参加クリエイター】

- ・かしゆか/Perfume（アーティスト）
- ・HAROSHI（彫刻 現代アーティスト）
- ・YAECA 服部 哲弘・服部 恭子（デザイナー）
- ・ALMOSTBLACK 中嶋 峻太（ファッションデザイナー）

### かしゆか(Perfume) / アーティスト 「ラタンコネクトスツール」



かしゆかと天童木工のコラボレーションによる新作「ラタンコネクトスツール」が誕生しました。かしゆかが敬愛する素材“ラタン”を取り入れ、「コネクト＝繋がる」という本人命名の名の通り、人と家具、空間と暮らしをゆるやかに結びます。

三日月形の座面は、前作「ラタンサイドテーブル」と組み合わせられるほか、複数を連ねることで連続した造形を生み、テーブルやベンチのようにも使用可能。積層合板が美しい広めの座面は物の居場所としても機能し、暮らしのさまざまな場面に自然に寄り添います。木部には本人の要望によるオーク材を採用し、カラーは「素」「麦」「栗」、そしてイメージカラーの「藤」の4色を展開。いずれもかしゆか自身によって名付けられました。なお、「藤」のみ数量限定での販売となります。

簡潔なかたちの中に、暮らしと響き合う豊かさを備えた一脚です。



ラタンコネクトスツール「素」



ラタンコネクトスツール「麦」



ラタンコネクトスツール「栗」



ラタンコネクトスツール「藤」  
※数量限定

### ラタンコネクトスツール by KASHIYUKA

各色 179,300円(税込)

表面材:オーク材

座:積層合板、ラタン

W392 D442 H400 (mm)



## HAROSHI / 彫刻 現代アーティスト 「HAROSHI× ムライスツール」



使い古されたスケートデッキを素材に、彫刻作品を手がけてきた現代アーティスト、HAROSHIと天童木工のコラボレーションにより、特別な「ムライスツール」が誕生しました。

本作では、成形合板による構造の中に、HAROSHIを象徴するレインボーカラーの積層表現を取り入れています。断面に現れる色の重なりは、フォルムの輪郭を際立たせながら、このツールが持つ素材と構造の魅力を新たなかたちで浮かび上がらせませす。素材にはスケートデッキにも使われるメープル材を用い、その均質で緻密な層が色彩の重なりをいっそう鮮明に際立たせています。

さらに、一台一台にHAROSHI自身がシグネチャーナンバーを手彫りしたステンレスプレートが付属。固有のナンバーが刻まれ、それぞれが唯一無二の存在となり、日常の中で使われながら時間を重ねていくアートピースが完成しました。



### HAROSHI × ムライスツール

税込 352,000円

表面材：メープル材

成形合板：ホワイトビーチ・メープル(染色)

W450 D434 H360 SH360 (mm)



## YAECA 服部 哲弘・服部 恭子 / デザイナー



天童木工のリバイバルにYAECAの二人が共感し、新たなプロダクトを考案。ジャパニーズモダンの名作「柏戸イス」と、このたび復刻された「柏戸スツール」のための“居場所”をかたちにしました。

日常着をつくり続けてきたYAECAが着目したのは、家具と身体との関係をより自然に結び直すこと。日常を共にする家具に寄り添い、その時間を受け止める存在として、専用クッションを構想しました。

製作は、伝統的綿布団づくりを伝える“丹羽ふとん店”が担当。綿打ちから仕立てまでのすべての工程を手仕事で行い、ふとんづくりの技術を活かして、一点一点丁寧に仕上げています。身体をやさしく受け止める質感は、家具に新たな心地よさをもたらすとともに、その佇まいに穏やかな表情を添えます。

家具を作るのではなく、家具のためのプロダクトを作るという試み。柏戸イスと柏戸スツールに、新たな時間と関係性をもたらす提案です。

※アイテムの詳細は後日公開



ファッションブランド ALMOSTBLACK のデザイナー・中嶋俊太 が、天童木工のヘリテージに向き合い、新たな視点からプロダクトを提案します。

天童木工の名作家具をモチーフに、1960~70年代に発行されたカタログ資料や製品図面を引用し、その造形をTシャツの意匠として再構成しました。

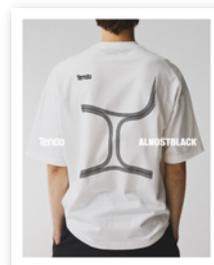
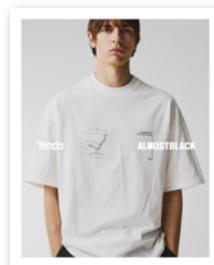
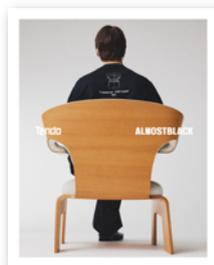
モチーフとなったのは、天童木工の開発部長として数々の製品を手がけた菅澤光政による「ヘロン」シリーズ。そして建築家・丹下健三が自身の建築のために構想したイージーチェア。家具そのものではなく、それらを生み出したプロセスに光を当てることで、ジャパニーズモダンの価値をファッションという異なる領域へと接続しています。

家具の歴史を読み解き、その魅力を日常の装いの中で感じられるかたちとして提案する本作は、今企画での先行販売となります。天童木工のものづくりを現代の視点から表現した新たなコラボレーションです。

TENDO × ALMOSTBLACK

税込 22,000円

※会場限定販売（数量限定）



## 『リバイバル』 — ジャパニーズモダンの名作リバイバル —



日本のデザイン界を牽引し、「ジャパニーズモダン」を提唱した剣持勇の家具を、現代の暮らしに向けて再構築しました。

建築家・丹下健三が設計した熱海ガーデンホテルのために構想されたスツールとテーブルを復刻。図面や現存資料、実物の検証を重ね、当時の造形を丁寧に読み解きながら製品化しました。スギ材を削り出して形成されたフォルムは、放射状の木目と素材の質感を際立たせ、空間に確かな輪郭を与えます。



また、建築家・大谷幸夫が設計した国立京都国際会館のためのイージーチェアとソファに加えて、かつて存在したアームレスタイプをリバイバル。箱型フレームの構成を活かしながら肘をなくすことで視線の抜けを生み、空間に軽やかさをもたらします。サイズも現代の住環境に合わせて見直しました。

建築とともに構想され、限られた空間の中で息づいていた家具を、現代の暮らしの中へ。時代を越えて受け継がれる想いを、あらためて日常の中に提案します。



柏戸スツール

税込 473,000円

材料:スギ無垢材

φW380 H343 SH332 (mm)

Designed by Isamu Kenmochi



柏戸テーブル

税込 664,400円

材料:スギ無垢材

φW530 H530 (mm)

Designed by Isamu Kenmochi



イージーチェア

税込 495,000円

表面材:チーク柾目

W620 D750 H650 SH410 (mm)

Designed by Isamu Kenmochi



ソファ

税込 1,089,000円

表面材:チーク柾目

W1780 D750 H650 SH410 (mm)

Designed by Isamu Kenmochi

## 『ヴィンテージ』 -天童木工監修によるヴィンテージ家具-

---



天童木工のヘリテージを物語るヴィンテージ家具を紹介します。

山形県庄内町のヴィンテージ家具店fismicの協力のもと、剣持勇や松村勝男による製品をはじめ、1950～60年代に生まれ、暮らしの中で大切に使われてきた家具の数々をセレクト。天童木工もその選定に関わり、真贋の確認とともに、製品が生まれた背景や時代性を丁寧に紐解きます。

さらに、1968年の本社工場竣工時から工場内で使われてきたスタッキングチェアを特別販売。一枚の成形合板パーツからなるチェアの表面材には、今では希少な大柄のローズウッドが用いられ、銘木の豊かな表情を今に伝えます。

人から人へと受け継がれてきた家具を通して、天童木工の歩みと価値を、現代の暮らしの中へあらためて提案します。

## 「SHAPE OF TENDO かたちには、つづきがある。」販売について

---

### ■ 三越伊勢丹オンラインストア 販売会期

先行販売 (エムアイカードをお持ちの方)

2026年 3月 11日(水) 午前 10時 ~ 3月 21日(土) 午後 11時 59分

一般販売

2026年 4月 1日(水) 午前 10時 ~ 5月 12日(火) 午後 11時 59分

### ■ 店頭会期

会期: 2026年 3月 25日(水) ~ 4月 21日(火)

場所: 伊勢丹新宿店 本館 5階 イセタン ホーム エッセンス(デザインスタジオ)

## 「SHAPE OF TENDO かたちには、つづきがある。」スタッフ

---

クリエイティブディレクター・会場設計 / 南木 隆助

アートディレクター(キービジュアル)/ 高橋 万実子

タイトル、コピーライター/ 三浦 麻衣(adanda)

イラスト(キービジュアル)/ ナガノ チサト

インタビュアー、ライター/ 西まどか

撮影 / 大西佑貴(スタジオアルタ)、宮田雄介・御船寛太(天童木工)

製品デザイン / 松橋 孝之(天童木工)

プロデューサー・広報 / 加藤 直樹(天童木工)

### ■ お問い合わせ先

株式会社 天童木工

広報担当 加藤 直樹

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-19-2

TEL : 03-3432-0557 E-mail : kato.n@tendo-mokko.co.jp

URL : <http://www.tendo-mokko.co.jp/>

PR SUPPORT

ENKEL (担当: 水潤)

TEL : 03-6812-9897

E-mail : [MIZUMA@enkel.jp](mailto:MIZUMA@enkel.jp)